

# いのちのキャンパス 活動報告書

## ①グループが活動を始めたきっかけ・活動目的

- ・きっかけは・・・「生命のメッセージ展 in みえ」への参加

2010年から2013年まで三重県内の大学生が中心となり「生命のメッセージ展 in みえ」を開催してきました。4年間開催していく中で幅広い世代の沢山の方々ご来場いただきました。しかし、結成当初掲げた「大学生から大学生へいのちの重みや尊さを伝える」ことが毎年課題に挙がっていました。そして私たちは少しでも近づくためもう一度初心に帰り、一から大学生の力でイベントを立ち上げ、大学生から発信していきたいと考えたからです。

- ・目的とは

来場者に対して、悲惨な交通事故の実態を提示するとともに、若者の交通事故被害者及びその遺族の生の声を届け、いのちの重さやその尊さを発信することを目的としています。特に、運転免許を取得する若者に対して、いのちの大切さを通して、交通事故が身近なものであること、安全な自動車運転を自覚してもらうことを目指します。

## ②グループのメンバー構成

大学という垣根を越えて、三重県内の5つの大学（皇學館大学、鈴鹿医療科学大学、鈴鹿国際大学、三重大学、四日市大学）に通う大学生が有志で集まり、顧問や代表の力を借りつつ、大学生を中心に大学連合を組んで実行委員で運営しています。また、大学も異なり、話す機会や交流もなかなかできないため、会議のある日や作業日の時に打ち上げを行なっています。



代表：栗原輝雄（皇學館大学教授）

顧問：山本俊彦（三重大学教授）

鷺見三重子

実行委員：皇學館大学 5 名、鈴鹿医療科学大学 3 名、鈴鹿国際大学 2 名、三重大学 13 名、  
四日市大学 2 名 （計 25 名の予定）

## ③現在の主な取り組み内容

メインのテーマは交通事故ではありますが、今年度はサブテーマを「ありがとう」と設

定しました。1人ひとりにありがとうと言う心の余裕があれば、自動車の運転も余裕を持って周囲を見て行うことができますし、未然に交通事故を防ぐこともできます。また、この機会に普段当たり前だと思ってしまう何気ないこと、普段ありがとうとなかなか言えない家族や友人にありがとうと伝えてほしいという願いからこのテーマにしました。

そして、開催に向けて現段階では主に【協賛】【広報】【企画】【協力団体】の4班に分けて活動しています。



【協賛】：開催にはたくさんの費用がかかるため、開催地である津市の企業や店舗に電話や直接訪問することでいのちのキャンパスの趣旨を理解していただいています。そして、協賛金という形で協力していただけないかをお願いし、運営に必要な資金を集めています。協賛していただける企業にはカラーチラシや会場に企業名を掲載させていただくようにしています。

【広報】：当日多くの方に来場していただくために情報を発信しています。いのちのキャンパスの開催を多くの人に知ってもらうこと、またいのちのキャンパスの目的である「いのちの重みや尊さ」を感じていただくために、TV、ラジオ、新聞、雑誌等の広告媒体による宣伝の依頼をしています。

【企画】：会場を把握し、当日のタイムスケジュールやテーマに合った装飾やその配置を中心となって考え、作成しています。また、協賛先、行政機関、大学や開催地の小中高校等に配布するカラーチラシの作成も行っています。



【協力団体】：協力してくださる学生団体（部活、サークル、団体等）にいのちのキャンパスの趣旨を説明し、理解していただいた上で当日テーマを取り入れたパフォーマンスや演奏、演舞をしていただく予定です。

さらに、いのちのキャンパスは初年度であるために、なるべく多くの方に周知、そして来場していただけるように行政のご協力いただき、さまざまなイベントに参加させていただきました。

#### ④地域との連携の具体的な状況

協賛を行う際に、開催地にあたる地域の企業と連携し、いのちのキャンパスを開催して

いきます。地域のご理解・ご協力があつてこそ、その地域で開催ができます。また、協賛金をいただき、カラーチラシや会場に企業名や広告を載せるだけではありません。この活動に対しての意見や交通事故の実体験など普段お話しできないことをこのいのちのキャンパスを通して学ぶことができ、そして応援もしていただき、活動の力にもなっています。現在、協賛は25社ご協力いただき、また来年度からの活動に繋げることができました。

## ⑤これまでの取組の成果・課題

グループが活動を始めたきっかけでもある「生命のメッセージ展 in みえ」はより多くの来場者に、「生命の重さや尊さ」を感じていただきました。昨年度は開催から念願であった鈴木英敬三重県知事にもお越しいたいただき、さらに活動が認められベストプラクティスコンテストでは大賞をいただきました。しかし、このまま続けていくと当初の目的であった「大学生から大学生に伝えていく」ことができなくなってしまうと考えたため、新たに私たちの力でイベントを立ち上げていくことにしました。

これから来年度からの開催にあたって課題は3つあります。①いのちのキャンパスの目標でもあるより多くの大学生に来場するにはどのような方法があるのか。②いのちのキャンパスに興味を持ってもらえるにどのように工夫していけばいいのか。③実行委員として所属するメンバー1人ひとり会議の出席人数を増やす方法、年々実行委員が変わっていくので新たな実行委員の募集も行っていくことです。

## ⑥今後の方向性・将来の夢

将来の夢は交通事故をゼロに近い数字になるように、1人ひとりが安全な自動車運転に心がけていける社会にしていけることです。そのためには私たちのような大学生から伝え、いのちの大切さを発信していきたいと思います。

最後になりましたが、私たち人間は尊いいのちをひとつしか持っていません。しかし、幾度なく「いのちは大事、大切」と教えられていたとしても、交通事故を始めひとりひとりが日頃気を付けていないと簡単に奪われてしまいます。

いのちのキャンパスは今日3月1日（土）、2日（日）10：00～17：00まで三重大学環境情報科学館にて開催しています。「いのちの重みや尊さ」を感じ、交通事故の実態、被害者や遺族の生の声を聴き、自分の身近な人と意見をシェアしてみてください（詳しくはチラシを参考にしてください）。少しでも自分自身の気持ちに変化があるのではないかと思います。これを読んでいる方、今日から、いや、今からでいいのです。自分に出来る事を考え、行動してほしいと願っています。





# いのちの キャンパス

2014/3/1(土)・2(日)

10:00~17:00

会場：三重大学 環境情報科学館

お問い合わせ先：TEL 059-213-8211  
公益社団法人 みえ犯罪被害者総合支援センター

いのちのキャンパスとは、悲惨な交通事故の実態を提示するとともに、遺族や被害者の生の声を届けることで、「生命の大切さ、尊さ」を発信することを目的とするイベントです。特に運転免許を取得する若者、飲酒ができるようになる若者に対して、交通事故被害者及び遺族と対話することや遺族の想いや事故の様子が示された灯籠の展示、いのちをテーマとしたコンサートを通して、いのちの大切さを改めて考え、交通事故が身近なものであること、安全な自動車運転を自覚してもらうことを目指しています。これから社会に出て行く私たち大学生がこれからの社会を担う若者や地域の人にいのちの大切さを広く三重県に発信していきたいと考えています。

## 開催内容

- ・交通事故被害者や遺族との対話
  - ・交通事故被害者や遺族の想い、被害者の生い立ち、事故の様子が記された灯籠の展示
  - ・ミュージシャン あつ によるスペシャルライブ
  - ・交通事故の現状等の展示
  - ・来場者との共同制作
  - ・主催大学の学生団体の発表や展示
  - ・相可高校のマドレーヌの販売
- 交通事故による被害者、遺族の生の声を伝えます

常時、いのちの言葉プロジェクトや、いのちに関する展示を行っています。また、パフォーマンスでは三重県内の大学生の有志のサークルによる演奏等が行われます。



「あつ」の音楽は元気系！  
世の中を元気にします！

## あつ

三重県出身・ギター弾き語りシンガーソングライター。  
2006年、フジテレビ系「めっちゃ×2イケてるッ！」  
エンディングテーマ「笑学校」でメジャーデビュー！  
「犯罪被害者支援」について理解を求めるキャラバン隊の  
隊長に任命され、県内各地を回り、メッセージソングを  
中心に繰り広げるライブは、学校や研修会でのトーク＆ラ  
イブとしても好評！  
(あつホームページ：http://www.atunti.com/index.html)

主 催：いのちのキャンパス実行委員会

共 催：皇學館大学・鈴鹿医療科学大学・鈴鹿国際大学・三重大学・四日市大学

後 援：三重県・三重県教育委員会・三重県警察・津市・津市教育委員会

一般財団法人三重県交通安全協会・公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター



## プログラム

### ○1日目

09:40～ 開演  
10:00～10:20 開会式  
11:00～12:00 第一講演(2名予定)  
13:00～13:40 パフォーマンス  
14:00～15:00 第二講演(2名予定)  
15:30～16:30 あつ スペシャルライブ  
16:40～16:50 終わりの挨拶

### ○2日目

10:00～10:10 始まりの挨拶  
10:15～10:45 パフォーマンス  
11:00～12:00 第一講演(2名予定)  
13:00～13:40 パフォーマンス  
14:00～15:00 第二講演(2名予定)  
15:00～16:00 あつ スペシャルライブ  
16:00～ 閉会式

### 「いのちの言葉プロジェクト」

「突然突き落とされた底なしの闇の中で、立ち上がる気力も、生きる力もなくした私たちにも、あなたとのあったかい記憶の中から変えてゆけるものがある。それは、命の灯をともし続けることであなたという存在を忘れないということ。」

いのちの言葉プロジェクトとは、「生きたくても生きられなかった思いを伝え、二度と犠牲者が出ないように」と大切な家族を失った1人の思いがきっかけで立ち上がったプロジェクトです。灯籠の4面すべてにその人の人生を絵や文章で書き記し、そこには一番大切な人へ伝えたい言葉、一番大切な人から聞きたい言葉「いのちの言葉」が書いてあります。それを引き立たせるようにいのちの灯りを灯していきます。来場された方は、会場でその言葉を受け取り、改めていのちについて、二度と犠牲者が出ないためにはどうしたらいいのか、あなたの大切な人と一緒に考えてみてください。

国立大学法人  
**三重大学**

世界を見つめ地域を考える  
**四日市大学**

Suzuka International University  
**鈴鹿国際大学**

SUZUKA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE  
**鈴鹿医療科学大学**

**皇學館大学**



### 「いのちを考える」

「いのちのキャンパス」実行委員会  
実行委員長 中山真未 (三重大学4年)

いのちは大切であるということとはよく言われることであり、知っている人も多いと思いますが、大切であるいのちを守るためにみなさんはどのような行動をしていますか。私自身、このイベントを立ち上げながら、よく考えています。

飲酒運転、無免許運転、信号無視、スピード違反等で未来あるいのちが失われる悲惨な事故をニュースでよく見ます。この原因は様々考えられますが、そのひとつに「これくらいなら大丈夫」という気持ちがあったのではないかと思います。その結果、大切な人のいのちを奪ってしまう可能性があることを、特に車を運転する人は自覚する必要があると考えます。車の運転を始める若者、飲酒ができるようになる若者、これから社会に出て行く若者、ひとりひとりが被害者や加害者になり得ることを自覚してほしいと思い、今回新たにいのちのキャンパスを立ち上げることに

しました。もちろん若者に限らず、地域の方々にも来場して頂いて、交通事故の少ない街を一緒につくっていききたいと思います。だからお願いします。ぜひ、会場に来て頂いて、被害者やその遺族の声を聞き、改めて「いのちの大切さ、尊さ」についてともに考えましょう。それだけで、救われるいのちはあるのです。私たち実行委員は三重県内の大学生です。ひとりひとりの力はわずかですが、実行委員みんなで力を合わせることで、一人でも多くの方の心に届けていけるいのちのキャンパスを作り上げていこうと思います。

最後になりましたが、いのちのキャンパスの運営、開催にあたりご協力を賜りました協賛各社、ならびにご尽力戴きました関係者の皆様に実行委員を代表して心から御礼申し上げます。

### 協賛団体・企業

網焼酒場 鶏みそ三郎・伊勢国一の宮 椿大神社  
一般財団法人 三重県交通安全協会・株式会社プラスワン  
株式会社ほくせい・株式会社松阪鉄工所・株式会社ヤマト  
御在所ローブウェイ株式会社・小竹設備・田中佛壇店  
中勢自動車学校・東海労働金庫亀山支店・東電運輸株式会社  
特定非営利活動法人 あのをスポーツクラブ・早川印刷株式会社  
ハヤシ住宅株式会社・三重執鬼株式会社・三重ヤクルト販売株式会社  
もみほぐしことり・焼肉きんぐ津上浜店・有限会社ライズ  
連合三重亀山地域協議会・JA グループ三重・S.L.S. すぎな  
Uretano Café

